

さいたま市で30人学級を実現しよう

13年目の請願署名 今年こそ採択を

さいたま市教組新聞



9月1日、大宮駅での署名活動

2001年5月のさいたま市誕生以降、そして2003年4月の政令市誕生以降、恥ずかしくて顔を上げられない教育に関わるデータがあります。政令市並びに東京区部の中で、教職員一人当たりの児童生徒数が最も多いのはさいたま市です。ワンストワンです。2012年度は、小学校でさいたま市は21・5人、2位は広島市19・9人、3位は福岡市19・7人です。中学校でさいたま市は17・9人で最低です。2位は広島市17・3人、3位は名古屋市16・6人です。

また、一学級当たりの児童生徒数を見ると、これまた頭が上らないデータがあります。小学校でさいたま市は31・3人です。2位は東京23区の29・1人、3位は福岡市28・5人です。中学校でさいたま市は34・4人で最低です。2位は福岡市32・5人、3位は東京23区32・3人です。10年間、最下位の地位を譲っていないのです。「日本一の教育都市」を掲げる神経が理解できない、と言われてもしかたがないのではないのでしょうか。

市教組との団地交渉のたびに、さいたま市教委は、少人数学級導入の前にマンモス校の解消をやらなければならない、と答弁しています。ところが、今年度の教育行政方針ではマンモス校解消の「マ」の字も出てき

編集・発行/
さいたま市
教職員組合
〒330-0843
さいたま市大宮区
吉敷町4-93-5
大宮教育会館2F
TEL 641-6763
FAX 648-3567
2013. 10. 1(火)
No. 205

9月7日、与野本町コミセンで、2013年の30人学級署名スタート集会が開かれました。呼びかけ人の一人で元立教



30人学級署名スタート集会

現在、市議会への請願署名に取り組んでいます。署名にご協力ください。

は、文科省の学校基本調査からさいたま市が政令市の中で、教育条件整備が立ち後れていること、特に少人数学級導入の立ち後れを厳しく指摘しました。

中学校現場からは、一クラスの子供数が多い、クラスの中に4人から6人は目をかけ、声をかけ、こまめな指導が必要な生徒がいる、と報告されました。

人間関係プログラムで対人関係の構築のための

コンプライアンス研修 なぜ臨採者全員が対象に?

教員の不祥事を端緒に、夏季休業中に市教委主催の「学校コンプライアンス」研修会がありました。採用5年以内の教職員と全ての臨採者が対象になりました。なぜ臨採者全員が対象になるのか全く理由が分かりません。

学期中には時間がとれないので夏季休業中に設定した校外行事の下見の日と研修日が重なったり、仕事に直結する研修や出張と重なり、コンプライアンス研修を優先した人がいます。参加した人からは、「臨採者でない」との声も聞かれます。

「△△をしたら、〇〇の懲罰」の類の例示が、警察関係者や大学の教授から繰り返し話されたようです。不祥事は良くないに決まっていますが、仕事に追いつていない人の精神状態を考えると、もっと事務量を減らし、ゆとりのある勤務状態にするための努力こそ求められています。

第7回 さいたま市教職員総経 男女ミックス

フットサル大会

10月19日(土)
13時~16時
ジョモニスタ上尾

参加費 1人1000円(保険別)

10月19日、ジョモニスタ上尾でフットサル大会が開かれます。

スキルを学ぶことになっていくさいたま市ですが、「いじめ」問題等で、また別のスキルを学ぼうとしています。人間関係プログラムで学んだスキルは何だったのか。真剣な検証が必要です。

一学級の定数を減らせば、もっと教育は変わります。先んじて少人数学級を導入している山形県策研究所の調査研究からも、少人数学級の優位性は明白です。

今年こそは請願の採択を実現しましょう。